

令和7年度上半期（令和7年4月～令和7年9月）モニタリング評価表

施設名 高齢者福祉センター ゆうゆう

指定管理者 社会福祉法人和光市社会福祉協議会

評価内容	検査項目	評点
1. サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	(1) 利用者サービスの向上や利用促進のための取組がされたか	3.75
	(2) 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか	3.25
	(3) 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がされたか	3.00
	(4) 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか	3.25
<p>申込み人数が予定数を超過した講座について、別日で受入れを実施しています。</p> <p>このような利用者のニーズに即した臨機応変な対応は、利用者満足度の向上に寄与しているといえます。また、スマホ講座は利用者ニーズが多く、今後も継続実施が望まれます。利用者ニーズに応えたサービス向上を今後も継続してください。</p> <p>通所型サービスAの利用が増加し、通所介護の利用が減少しており、利用者の身体的機能の改善につながる事業運営がなされています。</p>		
2. 施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	(1) 適正な施設の維持管理、運営が行われたか	4.00
	(2) 備品台帳により記録が適切に保管されているか	3.25
	(3) 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	3.00
	(4) 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	3.00
<p>施設内は清掃・整頓がなされており、適切な維持管理がされています。</p> <p>和光市社会福祉協議会が指定管理者となっている総合福祉会館内の他の施設との連携を図り、適切な管理の範囲内で備品の共有が図られるなど効率的な備品の管理が行われています。</p> <p>備品管理台帳は、常に最新の状態を保持し、上半期報告においても添付するよう要望します。</p>		
3. 緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	(1) 事故、苦情に対する対応は適切であったか	3.00
	(2) 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3.25
	(3) 避難経路は適切に確保されているか	3.50
	(4) 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	3.00
<p>緊急時の各種マニュアル等については、モニタリング等のタイミングだけではなく、定期的に見直しを実施し、有事に備えてください。</p> <p>適切に避難訓練が実施されており、また、避難経路も適切に確保されていました。</p>		

なお、総合福祉会館は、福祉避難所に指定されていることから、大きな地震が発生した場合は、安全の確保が図られた段階で一次避難所に避難することになるので、一次避難所までの避難経路の確認、避難の方法等についても利用者に周知してください。		
評価内容	検査項目	評点
4. 快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	(1) 適正な人員(人数、有資格者)が配置されたか	3.25
	(2) スタッフのシフトは適正であるか	3.00
	(3) 事業計画書に即した内容・頻度で教育・研修を実施したか	3.25
	(4) 施設内が整理整頓されているか	3.75
組織の透明性と法令遵守を確保するうえで不可欠な基盤である公益通報窓口を設けるなど事前の対策を検討してください。		
5. 指定管理者としての努力がなされているか。	(1) 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか	3.50
	(2) 収支状況は当初計画と整合しているか	3.00
	(3) 経理事務が適正に処理されているか	3.25
	(4) 経費削減への取組がされているか	3.00
税理士等の助言を参考にし、引き続き適正な経理事務に努めてください。 適正な人員配置を行った上で生じた人件費の不用額についての精算方法の在り方について検討してください。		
結果		
65.25 点 (評点の合計)		
80 点 (最高点の合計)		
× 1 0 0 = 81.56% (評点の割合)		

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4 点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3 点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2 点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1 点